

令和5年度現代芸術の国際展部会 開催報告

現代芸術の国際展部会は、国内各地で開催されている現代芸術の国際展に携わる自治体や団体の職員が、課題やノウハウを共有することにより各国際展の発展的な継続開催を目指し、さらには各開催都市の創造都市政策のさらなる実現を目指している。

【全体概要】

- 令和5年度の部会は、札幌市にて札幌国際芸術祭(SIAF)2024 会期中に2日間の日程で開催し、現代芸術の国際展開催における課題やノウハウを共有するとともに、担当者同士の活発な意見交換を行った。
- 担当者ミーティング後は、札幌国際芸術祭(SIAF)2024 を巡るエクスカージョンも合わせて実施した。

【担当者ミーティング】

開催日時	令和6(2024)年2月5日(月)15:00~17:30
開催方法	札幌市(市民交流プラザ)及びオンライン(ハイブリッド開催)
主催	横浜市
共催	創造都市ネットワーク日本(CCNJ)、札幌市、文化庁
参加人数	20名(現地19名、オンライン1名)
参加自治体・団体数	自治体:8、団体:2
プログラム	<input type="checkbox"/> 開会挨拶 ・小林 陽子氏(札幌市 市民文化局 国際芸術祭担当部 課長) ・辻 真知子氏(文化庁 参事官(生活文化創造担当)付 チーフ) <input type="checkbox"/> 話題提供「SIAF2024 開催概要及び特色について」 ・小澤 弘希氏(札幌市 市民文化局 国際芸術祭担当部) <input type="checkbox"/> ディスカッション (1)テーマ①:現代芸術の国際展部会開催における事業資金について (2)テーマ②:現代芸術の国際展部会開催における事業効果検証について <input type="checkbox"/> 総括 ・佐々木雅幸氏(CCNJ 顧問)

【担当者ミーティング概略】

1. 話題提供「SIAFの沿革とSIAF2024の特徴について」

- ・札幌市より、降雪地域であること等の地域特色や「創造都市さっぽろ」の理念について、そして過去3回のSIAFの沿革及びSIAF2024の特徴について説明があった。

2. ディスカッションテーマ①「現代芸術の国際展部会開催における事業資金について」

- ・札幌市より、札幌市における芸術祭の位置づけや、SIAFの事業資金の現況、今後の課題等紹介の後、参加者からの質問や課題の共有等、意見交換が行われた。

3. ディスカッションテーマ②「現代芸術の国際展部会開催における事業効果検証について」

- ・札幌市より、事業効果検証の意義や検証にまつわる課題、SIAFが策定しているロジック

クモデルを基に芸術祭の今後の展望について紹介の後、参加者からの質問や課題の共有等、意見交換が行われた。

【講評要旨】

- ・今回の札幌国際芸術祭はアルスエレクトロニカの小川秀明氏をディレクターに招き、初の冬季開催で、民間企業の参画もあり、新機軸で成功しており、参考にすべき点が多い。
- ・経営学でも「共創（Co-Creation）」が話題になっているが、国際芸術祭の中で滞在するアーティストと地域コミュニティが丁寧なコミュニケーションを重ね Co-Creation し、新しい移住者を増やしたりツーリズムが始まったりすることも事業の効果であり、Co-Creation から新しいアートや新しいビジネスが生まれており、Co-Creation の中でどのような価値が生まれ広がっていくかを考えていく必要がある。
- ・日本の国際芸術祭はこれまでフェスティバルとして創ってきたが、市場性のあるフェアを立ち上げてアートマーケットと連動して、フェスティバルとフェアを上手に回していくと事業の継続性が担保できる。

【エクスカーショ】

1. エクスカーショ①

開催日時：令和6年2月5日(月)17:45～18:30
会場：さっぽろ雪まつり大通2丁目会場

2. エクスカーショ②

開催日時：令和6年2月6日(火)10:00～12:00
会場：・未来劇場
・札幌文化芸術交流センター SCARTS

3. アフターツアー（希望者のみ）

開催日時：令和6年2月6日(火)13:00～16:00
会場：・北海道立近代美術館
・札幌市資料館

